

品川に入国管理局があるのはご存じでしょうか？

母国での迫害や差別から逃れ、日本に庇護を求めてやってきた難民がいます。

しかし日本は難民条約を結んでいるにもかかわらず、難民を助けるどころか、入国管理局の中にある収容所に強制的に閉じ込めて家族をバラバラにしてしまいます。

小さな子供がいるにもかかわらず父親を収容したり、夫婦の間を無理やり引き裂いたりします。

外で残された奥さんや子供は「お父さんを返してほしい…」と日々、泣き暮らしています。そして私達の友人も「外国人」というだけで収容されてしまっているのです。

収容所での待遇は完全なる人権侵害です。

何も悪い事をしていないのに犯罪者扱いされる辛さ。刑務所であれば刑期がありますが、入管での収容はいつ外に出られるのか一切、教えてはもらえません。3ヵ月なのか、1年なのか、3年かもしれない。もしくは強制送還をされる危険性もあります。送還されれば命が危ない人も大勢いるのです。

それでも入管は外国人を日本へ受け入れたくない為に、収容して虐めて、苦しめて、馬鹿にして日本から追い出そうとします。

また、どんなに大きな病気をしていようが、怪我をしていようが容赦なく収容し、収容者がどんなに病院に連れて行ってほしいと言っても、滅多には連れて行ってもらえません。

本当に歩けなくなるほどの重病になって、やっと病院に連れて行ってもらっても、手錠をはめられ、腰ヒモを付けられ、職員に囲まれながら病院に連れて行かされます。

まるで犯罪者のような扱いに彼らの心はボロボロになってしまいます。

外国人だからといって、このような人権侵害が許される訳がありません。

入管は今治外法権の中でやりたい放題になっています。職員の態度も日に日に態度が横暴になってきています。

私達はこの非道な入管から友人達の解放を、難民の自由を強く望んでいます。

このチラシを手にとって頂いた皆様、どうか入管の非道ぶりを知るとともに、生まれや言葉が異なるだけで他人をここまで冷酷に扱うことが許されてしまう日本社会について、考えてみてください。

収容者友人有志一同

